

- ・ マイクロ波方式だから信頼性は折り紙つきです。

ATAが開発した「ロングビーム方式」が棧積み状態での乾燥トレンドの観測を容易にしました。

クロスカット方式による測定が、精度良い平均含水率を測定するための重要なポイントです。

- ・ MC-3200はビジュアル化した芯部の水分量を確認できます。  
(使用者が現場で簡単に確認できるので測定信頼が増します。)



## 基本仕様



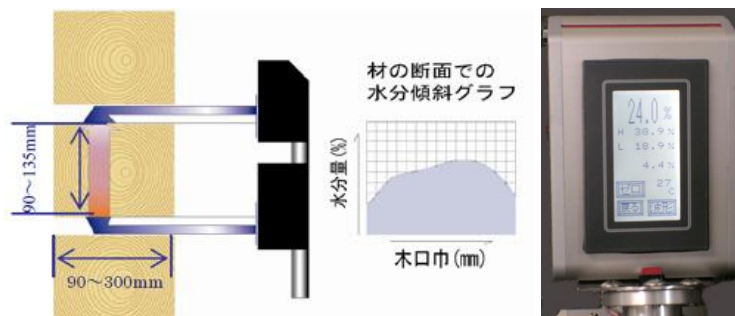
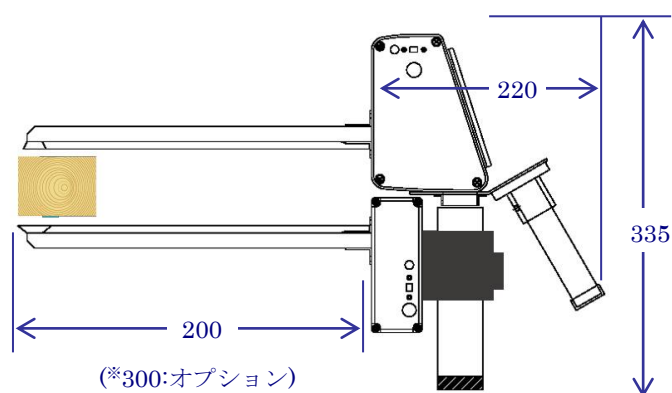
MC-3200 は(財)日本住宅・木材技術センターの認定機種です。(認定番号:1-11-001)

本器は、製材専用のハンディ含水率計です。(ラミナ等薄手の材は測定出来ません。)

測定性能	15%以下 ± 1%	サンプリング時間	0.1秒 (基本設定)
	15~20% ± 1.5%		但し 任意 0.01~0.001秒まで変更可
測定樹種	20~30% ± 2.0%	表示内容	含水率、水分傾斜モニター、各種設定
	杉、ヒノキ、ベイマツ、ホワイトウッド等 (樹種によっては測定できない場合がございます。ご照会時にお問合せください。)		
材寸法	厚さ 90~135mm, 幅 90~300mm ※	表示	LCD、バックライト機能
自動材温度測定	0~60℃ (温度補償機能)	使用周囲温度	0~40℃
測定範囲	5~38%以内	湿度	85%RH以下 (結露なきこと)
表示保証範囲	含水率 30%を超える値はマイクロ波の特性上、保証範囲外参考データになります。全乾比重 0.365 で 35%まで、0.45 で 28%まで計れます。(全乾比重の値により含水率の保証範囲が異なります)	電源	内蔵リチウムイオン電池 (充電式) 使用時間約 4.5 時間 / 充電時間約 3 時間
		重量	MC3200 全重量 3038g 導波管(200) 512g 導波管(*300) 715g

オプション: RS232C データ出力 30,000 円、USB メモリ 80,000 円、収納ケース 60,000 円

## 外観図



マイクロ波の減衰特性は水分量(約 30%まで)に対して非常に高い相関関係があります。この特性を利用してマイクロ波のアンテナで試験材を挟み左図のように矢印方向に移動すると上図のように透過した材の部位の水分量に比例した減衰量が測定できます。抵抗式や高周波式のように材面部位近傍の水分を測定する方式と違い材の中心部を含む透過部位の水分量が測定できるので精度の高い結果が得られます。  
MC-3200 はこのことを応用して材の内部の水分傾斜をビジュアル化した水分傾斜グラフとして液晶画面に表示する機能と共に測定部位の平均含水率を表示します。

●カタログ記載事項は予告なく変更される場合があります。

製造・販売



株式会社 **イーティーイー**

〒114-0023 東京都北区滝野川7-11-3  
TEL 03-5961-5866 FAX 03-5961-5867

# MC-3200EX

## 製材用携帯型含水率測定器

※ MC-3200 は(財)日本住宅・木材技術センターの認定機種です。  
(認定番号:1-11-001) (認定樹種: 杉)



測定材設定画面



水分傾斜表示

- ※ 釜出し後の棧積み状態での含水率のトレンドが観測できます。
- ※ 棧積み状態でも2列目から3列目の芯まで計れる。(新機能)
- ※ 透過方式のマイクロビームで木材中心部の水分もがっちりキャッチ。
- ※ 場所を選ばない充電式内蔵バッテリー電源。(連続 4.5 時間使用)
- ※ 現場で水分傾斜カーブをビジュアル化したグラフで確認。
- ※ 持ち運びに便利なオールインワンの収納ケース。(オプション)
- ※ RS-232C出力で測定結果をパソコン処理。(オプション)